

検査証

当製品は弊社の厳重なる検査に合格したことを証します。

品管

検査

●長年ご使用のストロボ機器の点検をぜひ！

愛情点検



こんな症状はありませんか

- スイッチを入れても所定の時間で充電しない
- 通電中に異音、異臭、あるいは発煙する
- ヒューズがすぐ切れる
- ストロボ電源部やヘッドに触るとビリビリと電気を感ずる
- その他の異常や故障があるとき

このような症状のときは直ちに使用を中止し、ACプラグをコンセントから抜いて、当社営業所または販売店にご相談ください。

- ストロボは内部に高電圧を蓄える機器です。誤った操作、または異常を無視して使用すると、使用する人々への危害、または物的損害を与えることが予測されます。取扱説明書の操作方法に従い、「警告」「注意」などを守って安全にお使いください。
- 上記のような症状がなくても1年に1～2回は点検を受けられるようおすすめします。



ご注意下さい

本機を「後幕シンクロモード」を有するカメラで撮影されるときは、必ず「先幕シンクロモード」でご使用ください。

- 「後幕シンクロモード」で撮影した場合、シャッタースピードとは関係なく写真に露光ムラが生じることがあります。
- 「先幕シンクロモード」で撮影した場合も、シャッタースピードは1/60秒よりも遅いシャッタースピードでご使用ください。

アフターサービスについてのご相談は

COMET®

コメット株式会社

本社	〒102-0071 東京都千代田区富士見1-4-6	TEL (03)3264-8621 FAX (03)3264-8385
札幌営業所	〒064-0805 札幌市中央区南5条西12丁目	TEL (011)561-2488 FAX (011)563-2820
仙台営業所	〒981-8003 仙台市泉区南光台4-29-25 (2F)MAY	TEL (022)727-8521 FAX (022)727-8523
東京営業所 総業課	〒135-0023 東京都江東区平野2-16-20	TEL (03)5245-3831 FAX (03)5245-3835
東京営業所 コマーシャル課	〒135-0023 東京都江東区平野2-16-20	TEL (03)5245-3831 FAX (03)5245-3835
東京営業所 デジタルイメージング	〒135-0023 東京都江東区平野2-16-20	TEL (03)5245-3831 FAX (03)5245-3835
名古屋営業所	〒461-0044 名古屋市東区久田東3番9号	TEL (052)719-0155 FAX (052)712-0077
大阪営業所 総業課	〒550-0015 大阪市西区南堀江2-9-22	TEL (06)6536-0671 FAX (06)6536-4020
大阪営業所 コマーシャル課	〒550-0015 大阪市西区南堀江2-9-22	TEL (06)6536-1687 FAX (06)6536-4020
広島営業所	〒730-0091 広島市中区江波西1-7-18 リラハイブ	TEL (082)293-0075 FAX (082)293-0078
高松営業所	〒761-8032 高松市鶴町1035-7	TEL (087)881-0344 FAX (087)881-0342
福岡営業所	〒812-0042 福岡市博多区豊2-1-4	TEL (092)411-1202 FAX (092)411-1209
福岡営業所 コマーシャル課	〒812-0042 福岡市博多区豊2-1-4	TEL (092)411-1254 FAX (092)411-1209
一般建築士事務所	〒102-0071 東京都千代田区富士見1-4-6	TEL (03)3264-8623 FAX (03)3264-8906
海外事業部	〒102-0071 東京都千代田区富士見1-4-6	TEL (03)3264-8692 FAX (03)3264-6385
ストロボクリニック部 本部	〒102-0071 東京都千代田区富士見1-4-6	TEL (03)3234-6081 FAX (03)3234-1358

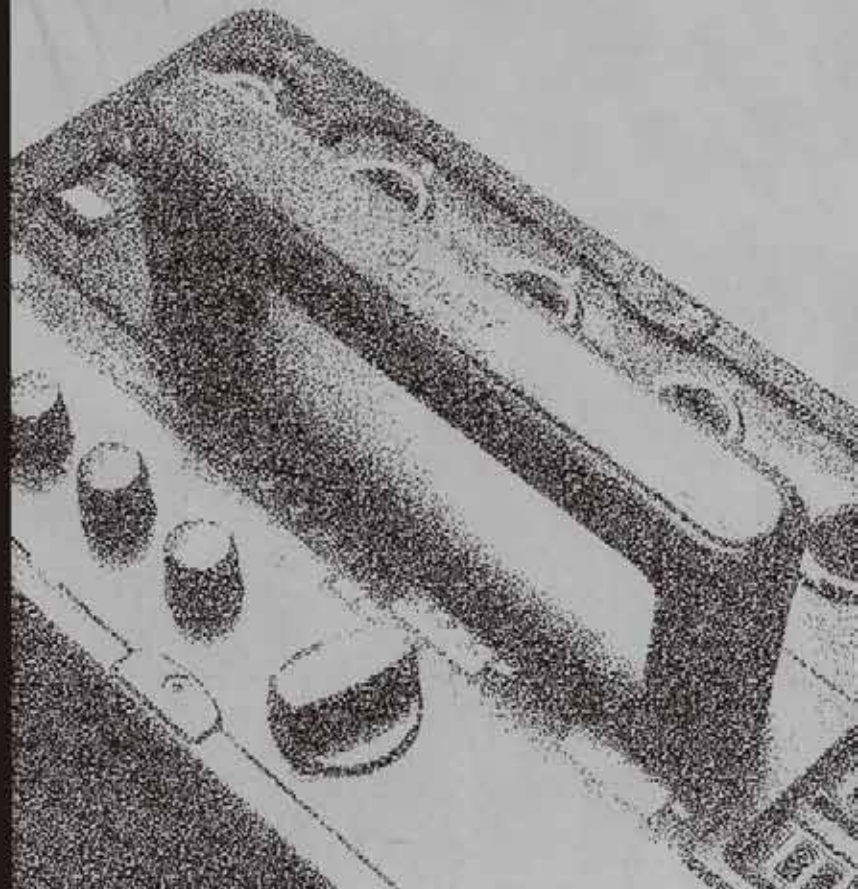
URL <http://www.lijnet.or.jp/cometnet>E-mail mail@comet-net.com

COMET

CX-124III / 244III

取扱説明書

ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。



はじめに

このたびは、コメットCX-124III/244III電源部をお買いあげいただきまして、まことにありがとうございます。

本機は従来モデルの高速チャージ、高耐久性の基本性能をそこなうことなくマイコンの搭載により安定した調光精度、デジタル化による出力をはじめとした視認性など性能の向上を図りました。あらゆる撮影状況で十分にその性能をお確かめください。

なお、ご使用になる前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、注意事項や使用方法を十分ご理解いただいたうえでご活用ください。

付属品

- CX-ACコード 3.5m 1本
- CX-シンクロコード 5m 1本
- ヒューズ CX-124IIIの場合 ストロボ用 20A 2本 / モデリングランプ用 4A 1本
CX-244IIIの場合 ストロボ用 20A 2本 / モデリングランプ用 10A 1本
- 取扱説明書 ● 保証書

目次

1. 安全のため特にご注意ください	1~4
2. 使用上のご注意とお願い	5
3. 各部の名称とはたらき	6~8
4. 操作手順	9~11
5. 出力バリエーター	12
6. 出力モード	12~13
7. 充電モード	13
8. モデリングランプモード	14
9. サウンドモード	14
10. フォトセル	15
11. 不発光警報	15
12. 過熱警報	16
13. 充電異常警報	17
14. ヒューズの交換とヒューズ定格	17~18
15. 保証とアフターサービス	19
16. 仕様	20~21

1 安全のため特にご注意ください

- ご使用の前に、この説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、この機器を使う人への危害、または物的損害を未然に防止するための注意です。
- 注意事項は危害や損害の大きさと切迫の度合いを明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、「危険」「警告」「注意」の3つに区分しています。

いずれも機器を安全にお使いいただくために重要な内容ですので、必ず守ってください。

危険：人が死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される内容。

警告：人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。

注意：人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容。

絵表示の意味



△記号は、危険・警告・注意を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な禁止内容（左図は感電注意）を示しています。



⊘記号は、禁止行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図は分解禁止）を示しています。



●記号は、具体的な指示内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図はプラグをコンセントから抜いてください）を示しています。

お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

警告



■修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造をしないでください。

電源部は、メインスイッチを切りACコードをコンセントから抜いた後も、内部には長時間高電圧が残っており、感電の恐れがあります。

また、発光部も電源部へ接続した状態では高電圧がかかっており危険です。

十分注意をしてください。



■水に濡れる場所や温度の高い場所での使用、また手足が濡れた状態や素足での操作はしないでください。

漏電による感電の恐れがあります。



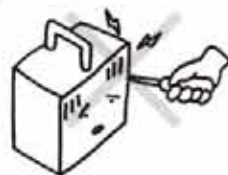
■電源部の出力コネクタ金属部には、絶対に触れないでください。

電源部は、メインスイッチを切った後も高電圧が残っており、感電の恐れがあります。



■電源部やヘッドのスリット部には金属などの異物を絶対入れないでください。

感電、ショートによる発火の恐れがあります。



■感電防止のため、必ずアース(接地)してください。

アース線を接続するときは、機器のメインスイッチを切り、ACコードをコンセントから抜いておこなってください。

アース線は絶対にガス管にはつながないでください。



■使用中のヘッドに水滴などがかからないようにしてください。

使用中のヘッドはキセノン管、モデリングランプが高温になっています。水滴などがかかるとガラスが破裂する恐れがあり、大変危険です。取扱いには十分注意をしてください。



■ヘッドコードプラグは電源部の出力コネクタに確実に差し込んでください。また締め付けリングのあるタイプは差し込み後、リングを回転し締めつけてください。

プラグの接続が不確実な場合、スパークにより発火の恐れがあります。



■ヘッドは発光時、高温の熱を発生します。人体に向けて近い位置で発光させたり、可燃物に向けての使用は絶対にしないでください。

火傷や火災の恐れがあります。



■揮発性のガソリン、シンナー、可燃性ガスなどを使用している場所や、大量の粉塵が舞っている室内などでは絶対に使用しないでください。爆発、火災、火傷の恐れがあります。



■使用電圧はAC100V±10%(50/60Hz)です。異なる電圧で使用すると発火、火災の原因となります。

■ACコードプラグやヘッドコードプラグを着脱する時は必ず電源部のメインスイッチ、モデリングランプスイッチを切ってください。

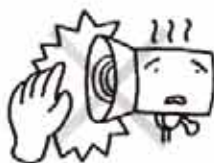
急激に大電流が流れ、ショートによる火傷、発火の恐れがあります。



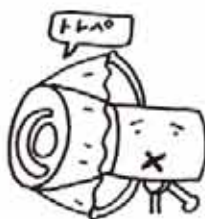
⚠ 注意



- 使用中や使用直後のヘッドは、かなりの高温になっています。十分温度が下がってから取り扱ってください。
火傷の恐れがあります。



- ヘッド使用中は、紙や布または樹脂系のシートなど可燃物を近づけたり、覆っての使用はしないでください。
使用中はかなりの高温となり発火、火災の恐れがあります。



- ヒューズやモデリングランプは弊社指定の定格品を使用してください。
定格品以外の使用は発火、火災の原因となります。



- 落としたり衝撃が加わったときは、直ちに使用を中止し、弊社、またはご購入店で点検を受けてください。
外観的な変形がなくても内部の電子部品などの損傷で、感電や漏電の恐れがあります。
コードの被覆損傷のときも同様に点検を受けてください。



- 使用後は安全のために必ずACコードをコンセントから抜き取ってください。



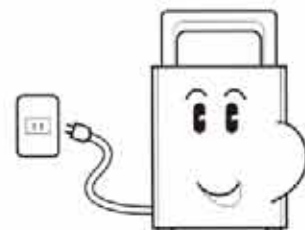
2 使用上のご注意とお願い

- 本機の定格電圧はAC100V±10% (50/60Hz)です。
定格電圧以外での使用は故障の原因となります。
- 調光機に接続しての使用はしないでください。
本機および調光機を破損する恐れがあります。



- 本機の適合ヘッドはCX-25IIIヘッドです。その他のCXタイプヘッドをご使用になるときは最大入力（ストロボおよびモデリングランプ定格）にご注意ください。定格の合わないヘッドの使用は故障の原因となるだけではなく大変危険です。

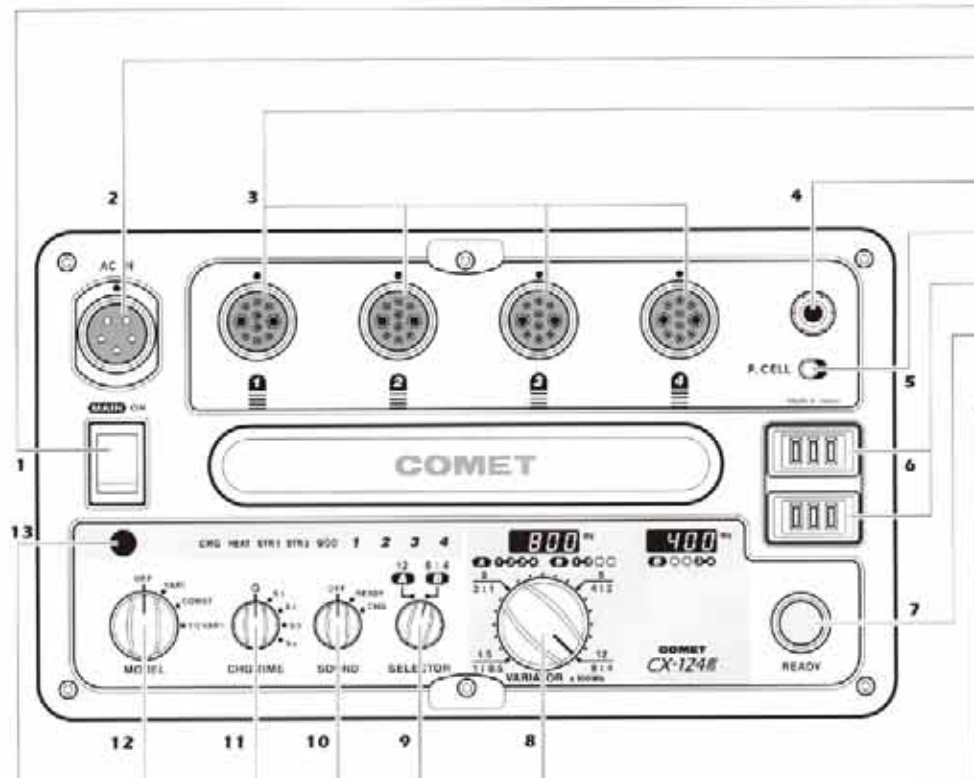
- 本機でCX-12バイチューブヘッド、レクト-126ヘッドをご使用になるときは、いずれも1灯のみにしてください。多灯使用は電源部を壊す恐れがあります。



- 使用されないときでも1カ月に1～2回は通電することをお勧めします。
3カ月以上使用しなかったときは、最低4時間通電だけを行い、その後ご使用ください。
- 赤外シンクロ装置(当社製)の受信器は、室内の蛍光灯から離れた場所にセットしてください。
蛍光管から出る赤外線により、誤動作を起こすことがあります。
- 赤外シンクロ装置(当社製)を使用するときは、使用する各々の電源部に受信器をセットし、これらすべての電源部のフォトセルスイッチを必ず「OFF」にしてください。
赤外シンクロ受信器を使用してもフォトセルスイッチが「ON」のとき、同調発光しない電源部が出る場合があります。

3 各部の名称とはたらき

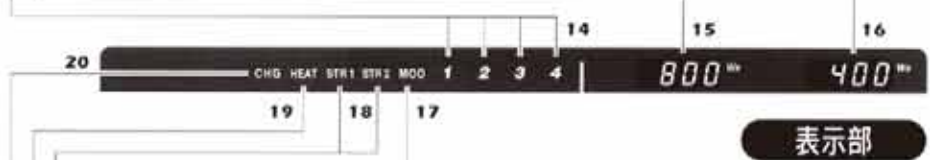
●ここに示す図はCX-124Hです。



- | | | |
|---|--|---|
| <p>9 出力モードスイッチ (SELECTOR)</p> <p>10 サウンドモードスイッチ (SOUND)</p> <p>11 充電モードスイッチ (CHG TIME)</p> <p>12 モデリングランプスイッチ (MODEL)</p> <p>13 フォトセル</p> | <p>各ストロボ出力コネクタへの出力配分を「モードA(均等)」か「モードB(2:1)」に切り換えるスイッチです。</p> <p>「充電中音」「充電完了音」または「OFF」に切り換えるスイッチです。</p> <p>AC電源の容量に合った、充電時間に切り換えるスイッチです。</p> <p>モデリングランプを「調光」「100%点灯」または「OFF」に切り換えるスイッチです。
※1/2 VARI モードはCX-124Hのみの機能です。</p> <p>他のストロボ光を受けて同調発光させるための受光部です。</p> | <p>10・12
・13頁</p> <p>9・14
頁</p> <p>9・13頁</p> <p>9・14
頁</p> <p>15頁</p> |
|---|--|---|

- | 名称 | はたらき | 参照頁 |
|----------------------------|---|--------------|
| 1 メインスイッチ (MAIN) | AC電源スイッチです。 | 10頁 |
| 2 ACコネクタ (AC IN) | ACコード(付属品)で電源部とACコンセントを接続します。 | 10頁 |
| 3 出力コネクタ | ヘッドを接続します。
着脱時はメインスイッチを「OFF」にしてください。 | 9・12
・13頁 |
| 4 シンクロソケット | ホーンジャックタイプのシンクロコードを接続します。 | 11頁 |
| 5 フォトセルスイッチ (P-CELL) | 他のストロボ光を受けて同調発光させるとき「ON」にします。 | 15頁 |
| 6 シンクロソケット | CXタイプのシンクロコード(付属品)を接続します。 | 11頁 |
| 7 レディランプ/テスト発光スイッチ (READY) | 充電が完了すると点灯します。
点灯している部分を軽く押すと発光します。 | 11頁 |
| 8 出力バリエーター (VARIATOR) | 出力をF1.1から1/8まで、1/6ステップで調光します。 | 12頁 |

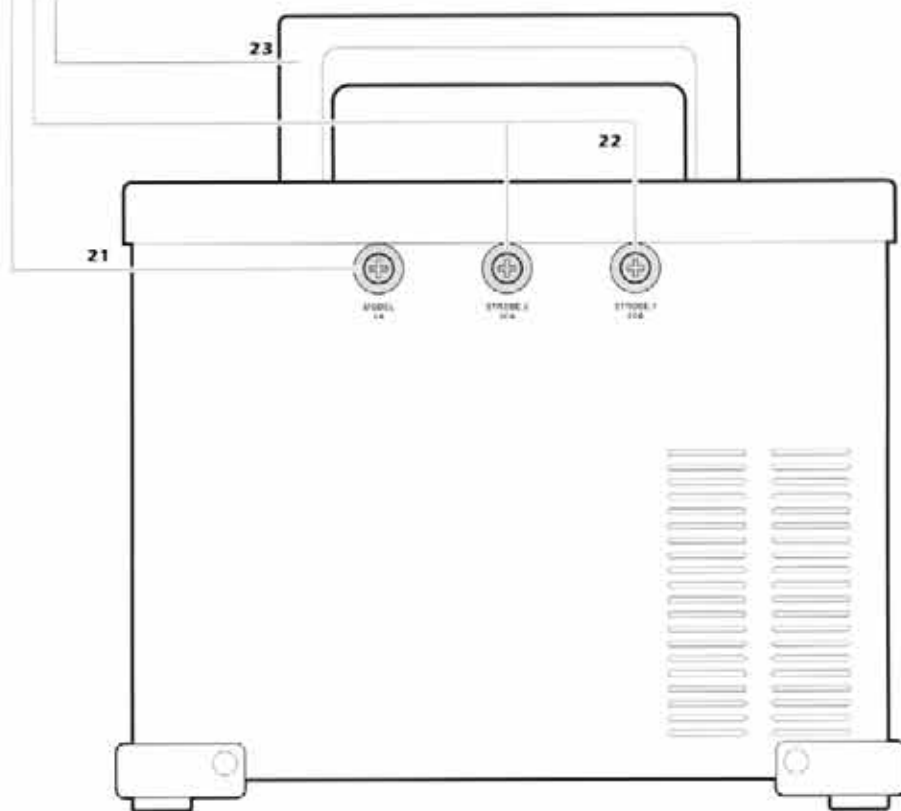
- | 名称 | はたらき | 参照頁 |
|----------------|--|------------|
| 14 不発光表示 (1~4) | 不発光が生じたときブザーが鳴り、該当する番号を表示します。 | 15頁 |
| 15 出力表示 | 「モードA」選択時は出力コネクタ①②③④の出力を表示します。
「モードB」選択時は出力コネクタ①②の出力を表示します。 | 12・13
頁 |
| 16 出力表示 | 「モードA」選択時は表示しません。「モードB」選択時のみ出力コネクタ③④の出力を表示します。 | 12・13
頁 |
-
- | | | |
|--|--|---|
| <p>17 モデリングランプヒューズ切れ表示 (MOD)</p> <p>18 ストロボヒューズ切れ表示 (STR 1/2)</p> <p>19 過熱警報表示 (HEAT)</p> <p>20 充電異常表示 (CHG)</p> | <p>モデリングランプヒューズが切れるとブザーが鳴り表示が点滅します。</p> <p>ストロボヒューズが切れるとブザーが鳴り該当する表示が点滅します。</p> <p>内部電子部品が所定温度以上になるとブザーが鳴り表示が点滅します。</p> <p>設定された時間内に充電が完了しないとブザーが鳴り表示が点滅します。</p> | <p>17・18
頁</p> <p>17・18
頁</p> <p>15頁</p> <p>17頁</p> |
|--|--|---|



3 各部の名称とはたらき

●ここに示す図はCX-124IIIです。

名称	はたらき	参照頁
21 モデリングランプヒューズ (MODEL)	モデリング回路を保護します。ヒューズ定格をお守りください。	17・18 頁
22 ストロボヒューズ (STROBE 1 / 2)	ストロボ回路を保護します。ヒューズ定格をお守りください。	17・18 頁
23 配手	スペアヒューズが収納されています。	17・18 頁



4 操作手順

■ 1. ヘッドコードを電源部へ接続してください。

ヘッドを準備し、ヘッドコードを電源部の出力コネクタへ接続します。「カチッ」と音がするまで十分に差し込んでください。



注意

●コネクタを確実に差し込んでください。差込が不完全な場合、発光時に流れる大電流によりコネクタがショートし、発火の恐れがあります。また、コネクタを着脱するときはメインスイッチ (MAIN) を必ず「OFF」にしてください。

■ 2. 充電モードを選択してください。

充電モードスイッチ (CHG TIME) で供給AC電源容量に応じた充電時間を選択します。
#A 詳細は13ページをご参照ください。



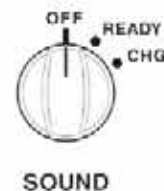
■ 3. モデリングランプのモードを選択してください。

モデリングランプスイッチ (MODEL) でモデリングランプの点灯モードを選択します。
なお、「1/2VARI」はCX-124IIIのみに設けられているモードで、CX-244IIIと併用するときに使用します。
#A 詳細は14ページをご参照ください。



■ 4. サウンドモードを選択してください。

充電状態を知らせるサウンド (SOUND) が必要なときは、充電中音 (CHG)、充電完了音 (READY) のいずれかにセットします。



●警報音は、サウンドモードに関係なく鳴ります。

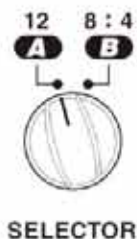
#A 詳細は14ページをご参照ください。

4 操作手順

■ 5. 出力モードを選択してください。

撮影状況により、出力モードスイッチ (SELECTOR) で出力コネクターへの出力配分を「モードA (均等)」か「モードB (2:1)」にするかを選択します。

▶ 詳細は12ページをご参照ください。



■ 6. ACコードを接続してください。

電源部のメインスイッチ (MAIN) が「OFF」になっていることを確かめてから、ACコードを電源部のACコネクターへ、十分に差し込んでください。そのあと、ACコードをコンセントへ差し込みます。



■ 7. メインスイッチを「ON」にしてください。

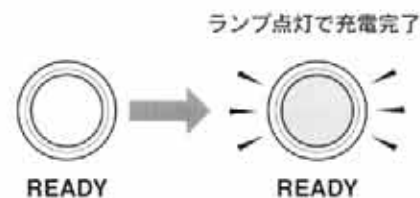
メインスイッチ (MAIN) を「ON」にします。

「ピー」と鳴って、すべての表示が一度点灯してから所定の表示になり、充電が始まります。



■ 8. 充電の完了。

充電が完了すると、レディーランプ (テスト発光スイッチ) (READY) が点灯し、発光準備が完了します。



■ 9. テスト発光をしてください。

テスト発光スイッチ (レディーランプ) (READY) を軽く押して、接続したヘッドが正常に発光していることを確かめてください。



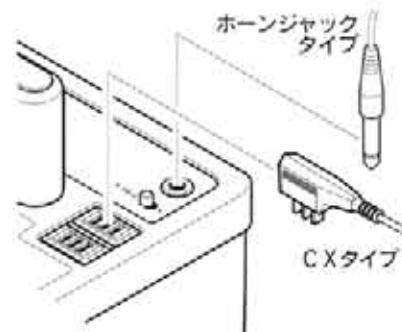
■ 10. カメラとのシンクロを確認してください。

シンクロコードでカメラと接続し、カメラ側からの発光テストをします。

- 本番撮影をされる前に実際のフィルムもしくはインスタントフィルム等でカメラのシンクロ (同調) テストをされることをお勧めします。

【お願い】

- カメラまたはレンズにM/X接点があるときは、必ずX接点を使用してください。
- フォーカルプレーンシャッターのカメラを使のときは、シャッター速度を1/60~1/30で使用してください。
- カメラによっては、シンクロに極性のあるものがあります。このときはシンクロコードプラグを逆に差し込み、極性を合わせてください。



5 出力バリエーター

出力バリエーター (VARIATOR) は、FULIから1/8までを1/6ステップで調光します。

■ 出力バリエーター (VARIATOR) を下げたとき

本機は電圧調光方式を採用しています。このため出力バリエーターを下げて内部のメインコンデンサーに蓄められている電気エネルギーは、直ちに新たな設定出力値までは上がりません。この場合は、一度空発光させてください。充電が完了すると新たな出力値に設定されます。



■ 出力バリエーター (VARIATOR) を上げたとき

設定された出力値まで自動的に充電が行なわれますので、空発光操作は必要ありません。この場合、テスト発光スイッチ (レディランプ) (READY) がいったん消灯し、充電が完了すると再点灯します。

6 出力モード

●以下の操作説明はCX-124IIIです。CX-244IIIは出力値が2倍となります。

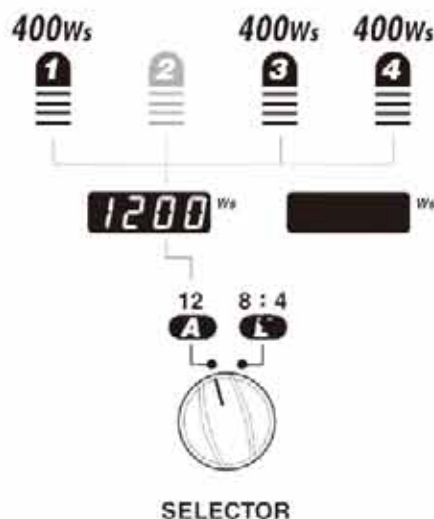
■ モード A

出力モードスイッチで「モード A」を選択すると、出力コネクター①②③④へ均等にストロボ出力が配分されます。

ヘッドを複数接続している場合の各ヘッドの出力は、表示されている出力値をヘッドの数で割った値となります。

【例】

出力表示が1200Wsで、ヘッドを3灯使用している場合、1灯あたりの出力は400Wsになります。



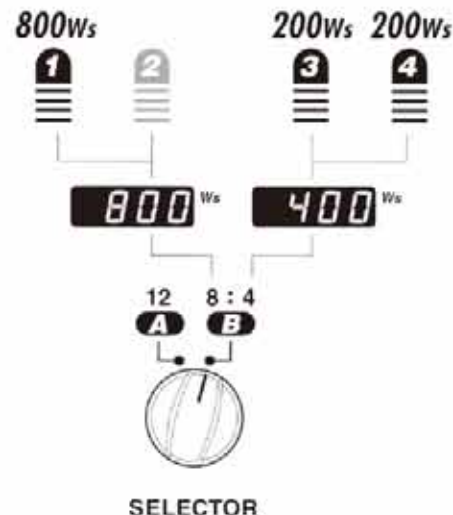
■ モード B

出力モードスイッチで「モード B」を選択すると、出力コネクター①②のブロックと③④とのブロックに分かれ、2:1の割合でストロボ出力が配分されます。

また、各ブロックへヘッドを2灯ずつ接続している場合の1灯あたりの出力は、各ブロックに表示されている出力値の半分になります。

【例】

出力表示が800Ws:400Wsで、ヘッド3灯を出力コネクター①③④へ接続している場合、①へは800Ws、③④へは400Wsの半分の200Wsが各々のコネクターへ配分されます。



7 充電モード

出張撮影など、AC電源の容量が少ない場所やポータブル発電機などを使用する場合、状況に合わせて「S1・S2・S3・S4」の各モードでご使用ください。

モード	CX-124 III	CX-244 III	AC電源容量	発光部の条件
Q	1.1 秒	1.8 秒	30Aで連続使用	ヘッド3灯・ハロゲン250W付
S 1	2.0 秒	3.0 秒	20Aで10発まで	ヘッド3灯・ハロゲン250W付
S 2	3.5 秒	5.0 秒	20Aで連続使用	ヘッド3灯・ハロゲン250W付
S 3	8.7 秒	17.5 秒	20A 2台連続使用	ヘッド3灯・ハロゲン250W付
S 4	約15 秒	約30 秒	500W発電機	ヘッド2灯・ハロゲン100W付

【ご注意】

発電機は正弦波形の交流のものをご使用ください。

8 モデリングランプモード

■ CONST

出力バリエーターに関係なく、モデリングランプが100%の明るさで点灯します。

■ OFF

モデリングランプを消灯します。

■ VARI

モデリングランプをストロボ出力と連動して調光します。

■ 1/2 VARI (CX-124 IIIのみ)

CX-124 IIIとCX-244 IIIを混用するときに、CX-124 IIIのモデリングランプの明るさを1/2にする機能です。これによりCX-244 IIIに接続されているヘッドと相対的の光量バランスを合わせることができます。

9 サウンドモード

■ READY

充電が完了したときに、ブザーが鳴ります。

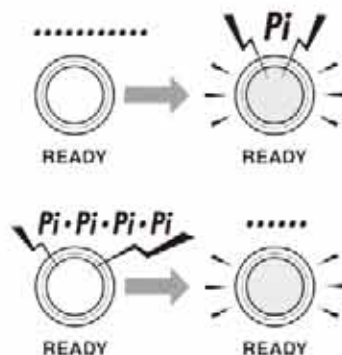
■ CHG

充電中にブザーが鳴り、完了したときにブザーが止まります。

■ OFF

充電状況を確認するためのブザー音を切ります。

● 警報音は、サウンドモードに関係なく鳴ります。



10 フォトセル

他のストロボ光を受けて同調発光させたい場合、「ON」にしてください。

【お願い】

- 赤外シンクロ装置を使うときは必ず「OFF」にしてください。
- フォトセル受光部周辺に直射日光など強い光が当たると作動しないことがあります。
- 同調発光させないときも「OFF」にしてご使用ください。



11 不発光警報

発光操作をしても、何らかの原因で発光しないとき、ブザーが鳴り、同時に該当する不発光表示が点滅して、どの出力コネクタに接続されたヘッドに不発光が生じたかを知らせます。充電完了前に発光操作を行ったときは、発光せずに該当する不発光表示が点灯します。



● 警報音は、サウンドモードに関係なく鳴ります。

■ 警報の解除

不発光警報の解除は、充電完了後ふたたび発光操作をして正常に発光すれば自動的に解除されます。また、メインスイッチ (MAIN) をいったん「OFF」にすることで解除できます。

12 過熱警報

長時間の連続発光などにより内部の電子部品が所定の温度以上になった場合、ブザーの連続音で知らせ、同時に過熱警報表示 (HEAT) が点滅します。このときは使用を中止してください、ただし、この状態で20回発光できますが、それを越えると充電が停止します。(この間、警報音は止められません。)



- 警報音は、サウンドモードに関係なく鳴ります。

■ 警報の解除と放熱

メインスイッチ (MAIN) をいったん「OFF」にし、ふたたび「ON」にしてください。これで警報音は止まりますが過熱警報表示 (HEAT) は点滅し、まだ過熱状態であることを知らせます。また、モデリングランプスイッチ (MODEL) は「OFF」にします。

冷却を早めるため、このままの状態が発光させずに放熱します。電源内部の温度が所定の温度以下になると過熱警報表示 (HEAT) が消灯し使用できる状態に戻りますが、完全に温度が下がったわけではありませんので、連続発光は避けてください。



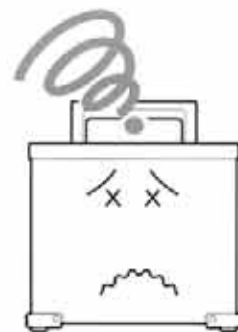
13 充電異常警報

充電が設定された時間内に完了しなかった場合、ブザーの連続音で知らせ、充電異常表示 (CHG) が点滅します。



- 警報音は、サウンドモードに関係なく鳴ります。

このとき、メインスイッチ (MAIN) をいったん「OFF」にし、ヒューズを点検してからメインスイッチ (MAIN) を「ON」にしてください。再び充電異常警報が発生するようときは、内部の故障が考えられますので速やかに使用を中止して、点検・修理を受けてください。なお、点検・修理については「保証とアフターサービス」をお読みください。



14 ヒューズの交換とヒューズ定格

ヒューズが切れたとき、ブザーの連続音で知らせ、該当するヒューズ切れ表示が点滅します。



- 警報音は、サウンドモードに関係なく鳴ります。
- モデリングランプのヒューズ切れの場合でも、モデリングモードスイッチ (MODEL) を「OFF」にすることで、ストロボは正常にご使用いただけます。なおこのとき、ブザー音は止まりませんが、ヒューズ切れ表示の点滅は続きます。

■ ヒューズ定格

	CX-124 III	CX-244 III
ストロボ (STROBE 1/2)	20 A	20 A
モデリングランプ (MOD)	4 A	10 A

14 ヒューズの交換とヒューズ定格

■ ヒューズの交換

該当するヒューズホルダーの蓋を④ドライバーで外し、断線したヒューズを取り出します。切れたヒューズと同じ定格のものと交換してください。



注意

- ヒューズ交換は、メインスイッチ (MAIN) を「OFF」にし、必ずACコードのプラグをコンセントから抜いて行ってください。
- ヒューズは必ず表示されている定格のものを使用してください。定格以外の使用は発火や火災の原因となります。

15 保証とアフターサービス

■保証書と保証期間

添付された保証書に「販売店名・ご購入日」など、所定事項の記載もれがないかをご確認のうえ大切に保存してください。なお、保証期間はご購入日から一年間です。

本製品に、純正部品・純正アクセサリ以外のものを使用することによって生じた故障・事故、および本取扱説明書で明記した注意・禁止された事項をお守りにならずに生じた故障・事故については一切の責任を負いかねます。

また、消耗品類は保証の対象となりません。詳しくは保証書の保証規定をご参照ください。

■保証期間終了後の修理

保証期間後でもご希望により有償で修理いたします。引き続き安心してご使用いただけます。

■アフターサービス

すべてのコメント製品は、厳重に調整・検査して出荷されていますが、万一故障になったときはご購入店または弊社営業所へご連絡ください。

■修理・点検へお出しになる際のご注意

修理・点検にお出しになる際は、電源部・ご使用中のすべてのヘッド・ヘッドコード・ACコード・シンクロコードをセットにしてご依頼ください。

迅速なアフターサービスをさせていただきます。

保証期間中のものは必ず保証書を添付してください。保証期間後のものは保証書に記載されている製品名・型式・ご購入年月日をお知らせください。

また、修理にお出しになる前にACプラグが抜けてないか、ヒューズ、ブレーカーが切れていないかをお調べください。

■修理・点検後のご注意

修理伝票は修理完了品に添付してあります。

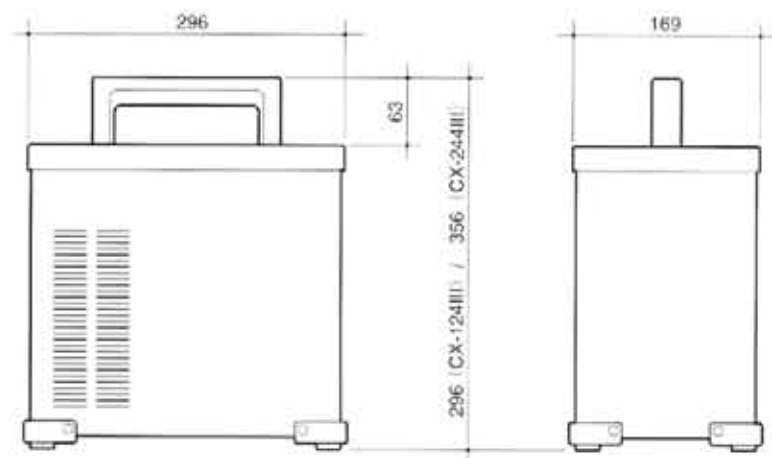
修理内容が明記されておりますので、修理品をお受け取りになる際に確認してください。

また、修理伝票は次回の修理に必要となる場合がありますので大切に保存してください。

16 仕様

品名	CX-124III 電源部	CX-244III 電源部
型式	CX-124III	CX-244III
定格電圧	AC 100V ±10% 50/60Hz	
ヒューズ定格	ストロボ 20A 2本 モデリングランプ 4A 1本	ストロボ 20A 2本 モデリングランプ 10A 1本
最大出力	1200Ws	2400Ws
ストロボ調光方式	電圧調光	
ストロボ調光範囲	FULL~1/8・1/6EVステップ (19ステップ) ・クリックストップ式	
出力切換 A/B	1200Ws / 800Ws・400Ws	2400Ws / 1600Ws・800Ws
出力表示	4桁7セグLED 2系統表示 (モードA 1系統・モードB 2系統表示)	
出力を下げたときの表示	出力表示点滅 1. バリエーターで設定された出力値で点滅表示 2. 一度発光させると正常表示 ● 放置して自然放電により設定出力になると正常表示になる	
モデリング調光モード	1. 出力対応調光 2. コンスタント 3. OFF 4. 1/2出力対応調光 (CX-124IIIのみ)	
充電時間	Q 1.1秒 30Aで連続使用 S1 2.0秒 20Aで10発まで連続使用 S2 3.5秒 20Aで連続使用 S3 8.7秒 20Aで2台連続使用 S4 約15秒 500W発電機	Q 1.8秒 30Aで連続使用 S1 3.0秒 20Aで10発まで連続使用 S2 5.0秒 20Aで連続使用 S3 17.5秒 20Aで2台連続使用 S4 約30秒 500W発電機
シンクロソケット	平型3P-BF 2個口 ・ ホーンジャック1個口	
シンクロ電圧	DC 12V	
フォトセル	内蔵 (スイッチ付)	
サウンドモード	充電完了音 (READY) / 充電中音 (CHG) / OFF	
不発光警報	ブザー連続音および該当する不発光表示点滅または点灯	
過熱警報	ブザー連続音および 過熱警報表示点滅 警報後 20回連続発光可能。その後は自動充電停止	
充電異常警報	ブザー連続音および 充電異常表示点滅	
ヒューズ切れ警報	ブザー連続音および該当ヒューズ切れ表示ランプ点滅	
クーリングファン	内蔵	
寸法	296 (w) × 296 (h) × 169 (d) mm	296 (w) × 356 (h) × 169 (d) mm
重量	9.6kg	12.1kg

CX-124III / 244III 外観寸法



単位 mm

● 本仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
なお、この仕様は2000年7月現在のものです。